

セラミックハンダ槽
簡易型温調器SU-100
付
SG-1S(AC100V/750W)

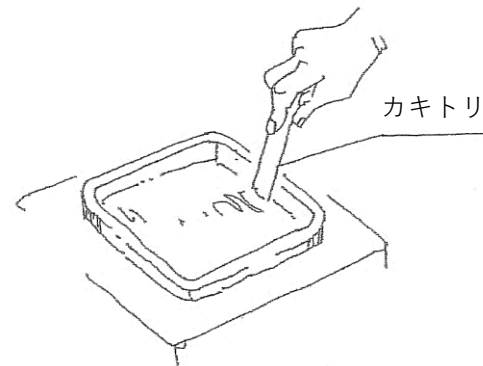
取扱説明書

警報接点1点は過昇防止機能のみ
ご使用できます

〒142-0053
東京都品川区中延2-17-3ベルビル2階
株式会社東洋テクニカル
TEL:03-3788-2711
FAX:03-3788-2719

SG-1S 使用上のご注意

- ①ルツボは、純セラミック製で、繊細な材質ですので、扱いには特に留意してください
- ②急冷却は避けて下さい。衝撃は与えないでください。
- ③初回のハンダ溶解時には、細かく刻んだハンダをルツボに8分目くらいに入れてから、電源をONにしてください。
- ④ルツボが空の状態、温度を上げてから、棒状ハンダをルツボ内面にこすりつけて溶解することは、絶対に避けてください。急冷却と同じ状態となり、ルツボ割れの原因となります。
- ⑤半田の補給は、棒状ハンダが出来るだけルツボ内面に触れないようゆっくり行ってください。
- ⑥ルツボの清掃は、可能な限り、毎日励行ください。
作業は電源をOFFにした後、ハンダ溶解中に行います。
(熱いので注意して行ってください)
- ⑦清掃は、添付のカキヘラ平面を使って、壁面に沿って四面、縁よりそこへ向かって付着したハンダカスを落とすように行ってください。底面もなぞるようにお願いします。
Mファイン処理を施したことにより、鉛フリーハンダによってセラミック槽内壁面にハンダ、ハンダカスがへばり付きやすい状況は解消されますが、カキヘラでの内面清掃はかるくで、結構ですので、ハンダ、ハンダカスが付かないという、予防の意味で行ってくださるようお願いいたします
それにより、ルツボの寿命にも影響を与えますので宜しくお願いいたします。



⑧低融点ハンダ (Bi入り) は使用できません。

⑨セラミックハンダ槽は半田溶解用です。それ以外の目的にて使用される場合、責任は持てませんのでご注意下さい。



SU-100簡易型温調器の仕様

①仕様	定格入力	AC100V
	最大出力	8A
	使用温度範囲	~520℃

②パネル説明

表面



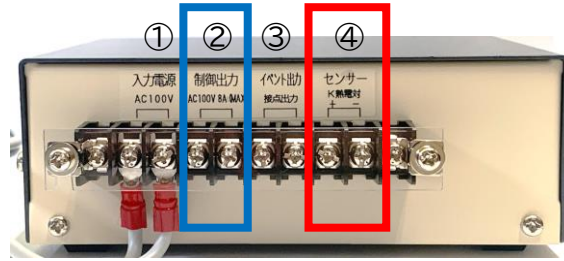
PARAキー
温度上昇キー
温度下降キー

裏面



- ①入力電源 (AC100V)
- ②制御出力 (ヒーター) ※接続端子 青 青
- ③イベント出力 (警報)
- ④センサー ※接続端子 +赤 -白

- ① ハンダ槽からのコード
 (電源用2本→②制御出力、センサー用2本→④センサー+赤 -白) を裏面の指示通り接続してください)



- ② 100V電源を入力し電源スイッチをONにしてください



- ③ 下記に従い、1度、オートチューニング(AT)動作を行ってください。
 (これを行うことにより、より良い温度の安定が得られますので必ずお願い致します。)

20	℃	現在温度(測定値)を表示します
		PARAキーを1度押す
S 400	℃	設定温度(設定値)を入力します
		PARAキーを1度押す
R OFF	℃	AT(オート)動作を行う
		▲又は ▼キーを2秒押すと
R ON/AT	℃	左のような点滅が始まります。(AT動作開始)
R OFF	℃	点滅が終了すると、AT動作は終了です。 ハンダ槽の温度が安定するまでですので数十分かかります。
		PARAキーを1度押す
400	℃	現在温度(測定値)を表示します

※設定温度を変更する場合のみ、再度、オートチューニング動作を行ってください。
 同じ設定温度にて作業を行う場合は、電源のON, OFFだけになります。

※注意 温帯裏面端子板は、接続後必ずアクリルカバーを付けご使用ください。